

トビイロカゲロウ科

オオトゲエラカゲロウ

Thraululus grandis

兵庫県：要注目

環境省： ー

種の概要

幼虫の体長は10～13mm程度で、上唇のくぼんだ部分の中央が突出することで同属の他種と区別できる。成虫は10mm程度で、5月～6月に羽化する。細流の落葉中に生息している。土砂等が流れ込むと生息できなくなる。



写真提供：稲田和久

国内分布

本州、四国、沖縄

県内分布記録

姫路市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			

特記事項

細流の落葉中に生息しており、土砂等が流入すると生息できなくなる。ここ数年間に3箇所の生息地が消滅した。

保護上の留意点